



# 学校だより

12月号  
横浜市立桜台小学校

令和2年11月30日発行

## 笑顔の花を咲かせるために

児童支援専任 鈿持 裕司

11月7日(土)、天候が心配されましたが、無事に運動会を実施することができました。開催にあたりまして、ご理解ご協力ありがとうございました。コロナ対策のため例年とは違う運動会になりましたが、いきいきとした一人ひとりの姿に感動させられました。

また、11月中旬からは各学年の遠足などの行事が行われ、熱心に取り組む子どもたちの姿が見られるようになり、学校の雰囲気もより一層明るくなってきました。このような行事を経験していく中で、通常の学習とは、また違った「人との関わりによる心の成長」があるのだと思います。

私事で恐縮ですが、私は小学生の頃から野球をしています。野球というスポーツを通して多くのことを学びました。その中で好きな言葉があります。それは「ドンマイ」(「気にするな」という意味)と「ナイスプレー」です。仲間から言われるこの言葉で何度となく救われてきました。ミスが続いてしまったときに「ドンマイ」と励まされ、次のプレーで何とか取り返そうと奥歯を噛みしめたり、うまくプレーができたときに「ナイスプレー」と言われ、自信をもち笑顔になれたりしたことが幾度もありました。

よいときも悪いときも、声をかけられて勇気もてる素敵な言葉だと思います。このように、短くて簡単な言葉一つでも人は救われたり、変われたりします。人と人をつなぐ言葉の大切さ、周りの人の後押しする力の重要さを学びました。

先日の運動会でも、白組が優勝し、優勝カップを応援団長が受け取る際に「赤組のみなさんと闘えてよかったです。」と言いました。反対に、赤組応援団長は準優勝盾をもらう際に「白組のみなさんおめでとうございます。」という言葉がありました。

このように、自分の先立つ気持ちがありながら、相手を称える言葉を話せる応援団長は素晴らしいと思います。そして、学校内にも気持ちのよい言葉が広がってほしいと思います。

12月は横浜市いじめ防止啓発月間です。いじめをなくすためには、すべての子どもたちが「見逃す」「見過ごす」をなくし、「相手を認める」ことが必要です。そして、何か嫌なことをされたら周囲の人に相談するなどの一歩を踏み出すことが必要です。どちらも勇気が必要です。その勇気をもてるように周りにいる大人は支援するべきなのではないでしょうか。



左の写真は、6年生が最後の運動会に向けて気持ちを表した壁画の一部です。当日は防災備蓄庫の壁面に貼られていました。6年生一人ひとりが好きな色の手形を押し、全体として大きな花束を表しました。これは、「一人ひとりの力を精一杯表現し、花を咲かせよう!」という願いを込めて描かれたものです。この壁画のように、これからも一人ひとりが自分の気持ちを表現し合いながら、桜台小学校にたくさんの笑顔の花を咲かせてほしいと思います。